

# テクノプロ・グループ 決算説明資料 (2021年6月期 第3四半期)

テクノプロ・ホールディングス株式会社（証券コード：6028）

2021/4/28

# 目次

	Page
I : 業績概要	2
II : KPI分析	6
i : 技術者数・稼働率	6
ii : 売上単価	11
III : 業績予想	12
IV : 株主還元	14
V : Appendix	15
VI : データ資料集	19

1. 会計数値の単位未満は切捨処理、各種KPIは「国内その他」及び「海外」セグメントを除く数値を記載
2. 売上収益を「売上高」、非支配持分控除後の親会社の所有者に帰属する当期利益を「当期利益」とそれぞれ記載
3. 事業利益とは、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」を減算したもので、「その他の収益」や「その他の費用」に計上される特別項目（雇用調整助成金や減損損失など）による影響を除いたものを示す
4. PPA資産償却前営業利益とは、「営業利益」に、M&A時のPurchase Price Allocation (PPA) によって生じた顧客関連資産の償却額、減損損失、Put Option (PO) 債務変動損益・早期行使益、Earn-Out (EO) 債務変動損益を加減算したものを示す

# 2021年6月期 第3四半期 業績概要

- FY21.6 3Q累計の売上高は**1,201億円**で前年同期比0.6%の増加、営業利益は**148.7億円**（うち、国内雇用調整助成金収入16.9億円を含む）で同13.8%の増加、事業利益は**131.8億円**で同2.6%の増加、当期利益は**102.4億円**で同14.1%の増加
- FY21.6 3Q累計の売上総利益率が前年同期比で**1.9pt悪化**したのは、主に、稼働率低下によるスタンバイコスト増で0.4pt、稼働時間減少による売上単価減で0.5pt、有休引当金の増加で0.5pt、確定拠出年金の会社負担増額で0.3ptのマイナス影響を受けた一方、継続的なコスト削減努力により、販管費率は前年同期比で**2.1pt改善**し、事業利益率は前年同期を**0.2pt上回る**水準を維持

(百万円)

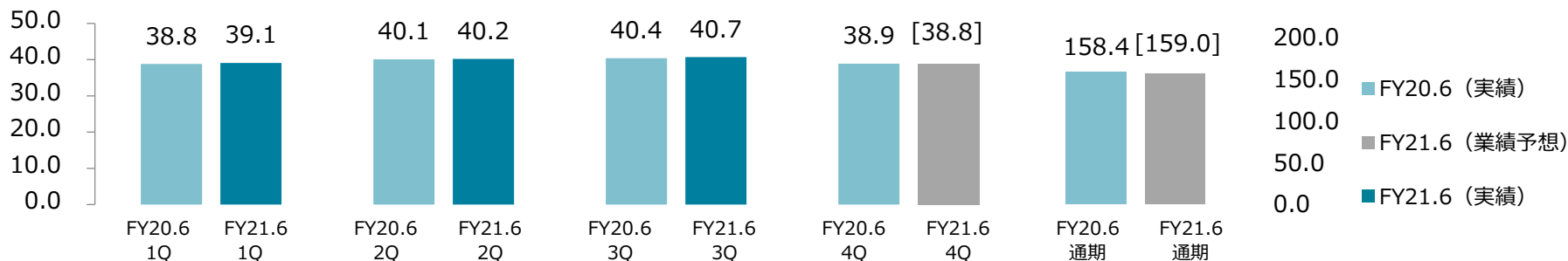
	第3四半期（単期）				第3四半期（累計）					通期		
	FY20.6 （実績）	FY21.6 （実績）	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （実績）	進捗率	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （予想）	前年比
売上高	40,453	40,729	+276	+0.7%	119,491	120,181	75.6%	+690	+0.6%	158,407	159,000	+0.4%
売上総利益	10,846	10,363	△482	△4.4%	30,952	28,887	—	△2,065	△6.7%	40,226	—	—
売上総利益率	26.8%	25.4%	△1.4pt		25.9%	24.0%		△1.9pt		25.4%		
販売費及び一般管理費	6,109	5,468	△640	△10.5%	18,104	15,700	—	△2,403	△13.3%	23,960	—	—
対売上高比率	15.1%	13.4%	△1.7pt		15.2%	13.1%		△2.1pt		15.1%		
事業利益	4,736	4,894	+157	+3.3%	12,848	13,186	—	+337	+2.6%	16,265	—	—
事業利益率	11.7%	12.0%	+0.3pt		10.8%	11.0%		+0.2pt		10.3%		
その他の収益	254	469	+215	—	393	1,984	—	+1,591	—	649	—	—
その他の費用	142	165	+23	—	171	291	—	+120	—	1,143	—	—
営業利益	4,848	5,198	+349	+7.2%	13,070	14,879	82.7%	+1,808	+13.8%	15,772	18,000	+14.1%
営業利益率	12.0%	12.8%	+0.8pt		10.9%	12.4%		+1.4pt		10.0%	11.3%	
税引前当期利益	4,897	5,257	+359	+7.3%	13,088	14,902	82.8%	+1,813	+13.9%	15,843	18,000	+13.6%
当期利益	3,325	3,626	+301	+9.1%	8,979	10,249	83.3%	+1,269	+14.1%	10,825	12,300	+13.6%
当期利益率	8.2%	8.9%	+0.7pt		7.5%	8.5%		+1.0pt		6.8%	7.7%	
1株当たり当期利益（円）	92.09	100.99	+8.90	+9.7%	248.42	285.44	83.3%	+37.02	+14.9%	299.97	342.54	+14.2%
1株当たり配当金（円）	—	—	—	—	50.00	50.00	29.1%	0.00	0.0%	150.00	172.00	+14.7%

# 四半期推移

・ 主にCOVID-19の影響により、FY21.6 3Q単期の1日当たり国内稼働時間は**8.51時間**（前年同期比  $\Delta 0.05$ 時間/日、 $\Delta 0.6\%$ ）

## 売上高

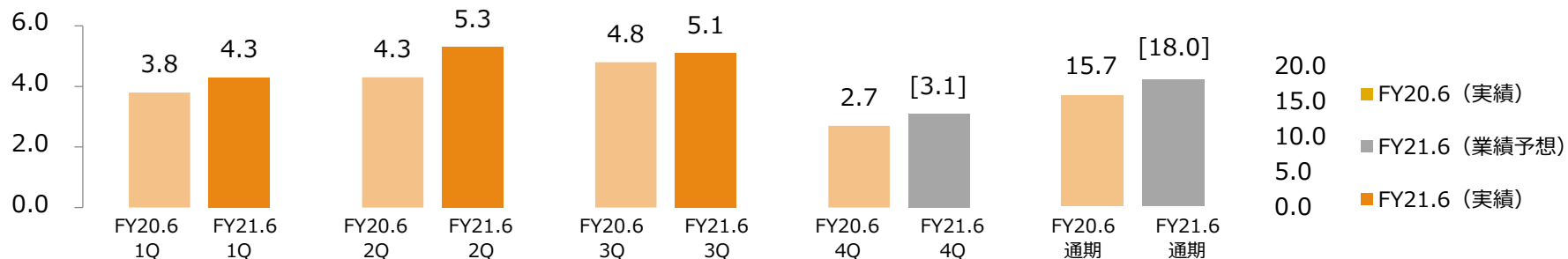
(十億円)



前年同期比	+0.8%		+0.3%		+0.7%		[ $\Delta 0.2\%$ ]		[+0.4%]	
通期進捗率	24.6%	[24.7%]	25.3%	[25.3%]	25.5%	[25.6%]	24.6%	[24.4%]	100.0%	100.0%
国内稼働日数*	56.5	56.2	58.1	58.6	55.8	56.5	56.7	[57.2]	227.1	[228.5]
1日当たり国内稼働時間*	8.56	8.44	8.56	8.47	8.56	8.51	8.39	[8.47]	8.52	[8.47]
月次平均売上単価(千円)*	626	620	635	637	638	640	620	[627]	630	[630]

\* 主要な国内子会社2社（テクノプロ社、テクノプロ・コンストラクション社）

## 営業利益



前年同期比	+12.2%		+22.8%		+7.2%		[+15.5%]		[+14.1%]	
通期進捗率	24.6%	[24.2%]	27.5%	[29.6%]	30.7%	[28.9%]	17.1%	[17.3%]	100.0%	100.0%
営業利益率	10.0%	11.1%	10.8%	13.2%	12.0%	12.8%	6.9%	[8.0%]	10.0%	[11.3%]

# 2021年6月期 第3四半期（累計） セグメント別業績

・ セグメントの区分けについては、Appendix) セグメント表を参照

(百万円)

	R&Dアウトソーシング				施工管理アウトソーシング				国内その他				国内小計			
	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比
売上高	84,403	94,758	95,464	+0.7%	13,131	14,922	14,849	△0.5%	2,245	3,112	2,693	△13.5%	99,780	112,793	113,007	+0.2%
連結売上高に占める割合	79.2%	79.3%	79.4%		12.3%	12.5%	12.4%		2.1%	2.6%	2.2%		93.7%	94.4%	94.0%	
営業利益	8,605	10,221	12,146	+18.8%	1,576	1,884	2,187	+16.1%	212	306	112	△63.4%	10,395	12,412	14,445	+16.4%
営業利益率	10.2%	10.8%	12.7%		12.0%	12.6%	14.7%		9.5%	9.9%	4.2%		10.4%	11.0%	12.8%	
PPA資産償却前営業利益	8,666	10,281	12,206	+18.7%	1,576	1,884	2,187	+16.1%	212	306	112	△63.4%	10,455	12,472	14,506	+16.3%
PPA資産償却前営業利益率	10.3%	10.9%	12.8%		12.0%	12.6%	14.7%		9.5%	9.9%	4.2%		10.5%	11.1%	12.8%	
うちPPA資産償却費	△60	△60	△60	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	△60	△60	△60	0.0%
うち減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
技術者数（期末時点、人）	15,697	17,520	17,368	△0.9%	2,363	2,714	2,581	△4.9%	—	—	—	—	18,060	20,234	19,949	△1.4%
うち日本在住外国籍（人）	863	1,065	853	△19.9%	59	83	91	+9.6%	—	—	—	—	922	1,148	944	△17.8%

	海外				報告セグメント合計				全社/消去				連結合計			
	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比	FY19.6 3Q	FY20.6 3Q	FY21.6 3Q	前年同期比
売上高	7,619	7,853	8,119	+3.4%	107,400	120,646	121,126	+0.4%	△855	△1,155	△945	—	106,544	119,491	120,181	+0.6%
連結売上高に占める割合	7.2%	6.6%	6.8%		100.8%	101.0%	100.8%		△0.8%	△1.0%	△0.8%		100.0%	100.0%	100.0%	
営業利益	684	563	601	+6.8%	11,079	12,976	15,047	+16.0%	52	94	△167	—	11,131	13,070	14,879	+13.8%
営業利益率	9.0%	7.2%	7.4%		10.3%	10.8%	12.4%		—	—	—		10.4%	10.9%	12.4%	
PPA資産償却前営業利益	867	716	756	+5.4%	11,322	13,189	15,262	+15.7%	52	143	△167	—	11,374	13,333	15,094	+13.2%
PPA資産償却前営業利益率	11.4%	9.1%	9.3%		10.5%	10.9%	12.6%		—	—	—		10.7%	11.2%	12.6%	
うちPPA資産償却費	△182	△153	△154	+0.6%	△242	△213	△214	+0.4%	—	—	—	—	△242	△213	△214	+0.4%
うち減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うちPO債務変動損益・早期行使益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60	—	—	—	60	—	—
うちEO債務変動損益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△110	—	—	—	△110	—	—
技術者数（期末時点、人）	1,649	1,569	1,921	+22.4%	19,709	21,803	21,870	+0.3%	—	—	—	—	19,709	21,803	21,870	+0.3%

# 2021年6月期 第3四半期 B/SとCFの状況

- 2020年9月に調達したシンジケートローン**100億円**（5年均等返済）による既存借入金のリファイナンスは完了し、2020年12月以降、当該シンジケートローンについて3ヶ月ごとに5億円（年当たり20億円）の元本返済を予定
- 運転資金目的のコミットメントライン枠の合計**120億円**（月商の**0.9ヶ月分**）により、万が一に備えた財務余力を確保

## FY21.6 3Q末 B/S (十億円)

現預金 26.6	借入金 9.0
	IFRS第16号関連負債 8.4
IFRS第16号関連資産 8.4	その他負債 36.5
のれん 36.3	Put Option債務 3.1
無形固定資産 (PPA) 1.7	資本合計 55.5
その他資産 39.5	

資産合計 112.5

負債及び資本合計 112.5

ネットキャッシュ： **177億円**

資本比率\*： **49.4%**

D/E レシオ\*： **0.16倍**

D/営業利益レシオ\*\*： **0.50倍**

\* 資本合計には、非支配持分を含む

\*\* 営業利益は、通期ガイダンスを使用

## FY21.6 3Q累計 CF (百万円)

・ 営業CF	<b>13,827</b>
うち法人所得税支払	△4,663
・ 投資CF	△ <b>1,096</b>
・ 財務CF	△ <b>8,982</b>
うちIFRS第16号関連リース負債の返済***	△4,903
うち借入金の調達・返済（ネット）	+1,341
うち配当金支払	△5,420
現預金増減額	<b>+3,888</b>

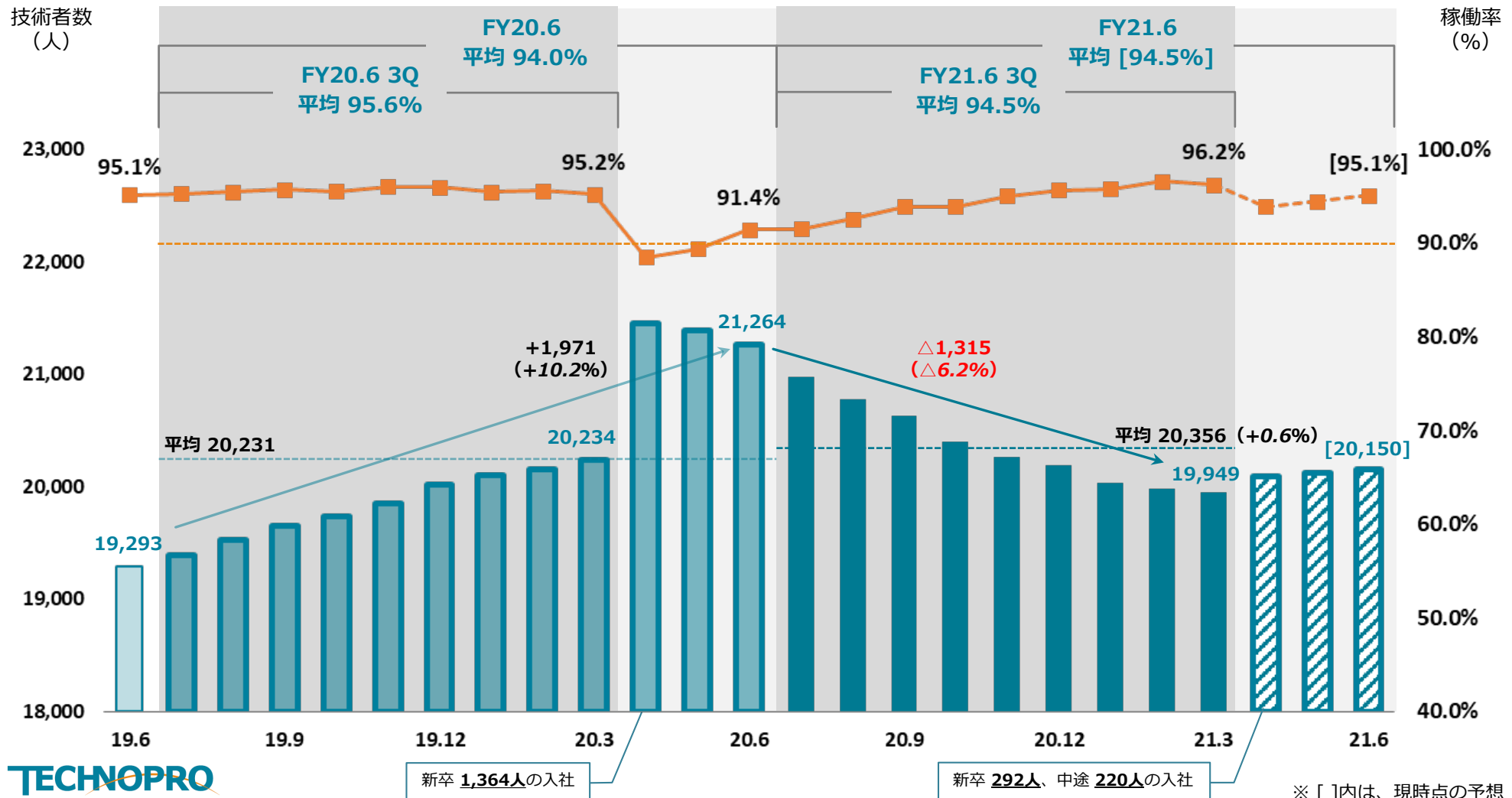
\*\*\* FY19.6まで賃借料支払として営業CFでカウントされていたものが、財務CFで計上

## コミットメントライン (百万円)

資金用途	借入枠	実行残高	未実行残高	期限
1 運転資金	10,000	0	10,000	2021年6月
2 運転資金	1,000	0	1,000	2021年9月
3 運転資金	1,000	0	1,000	2021年10月
4 M&A	10,000	0	10,000	2021年6月
合計	22,000	0	22,000	

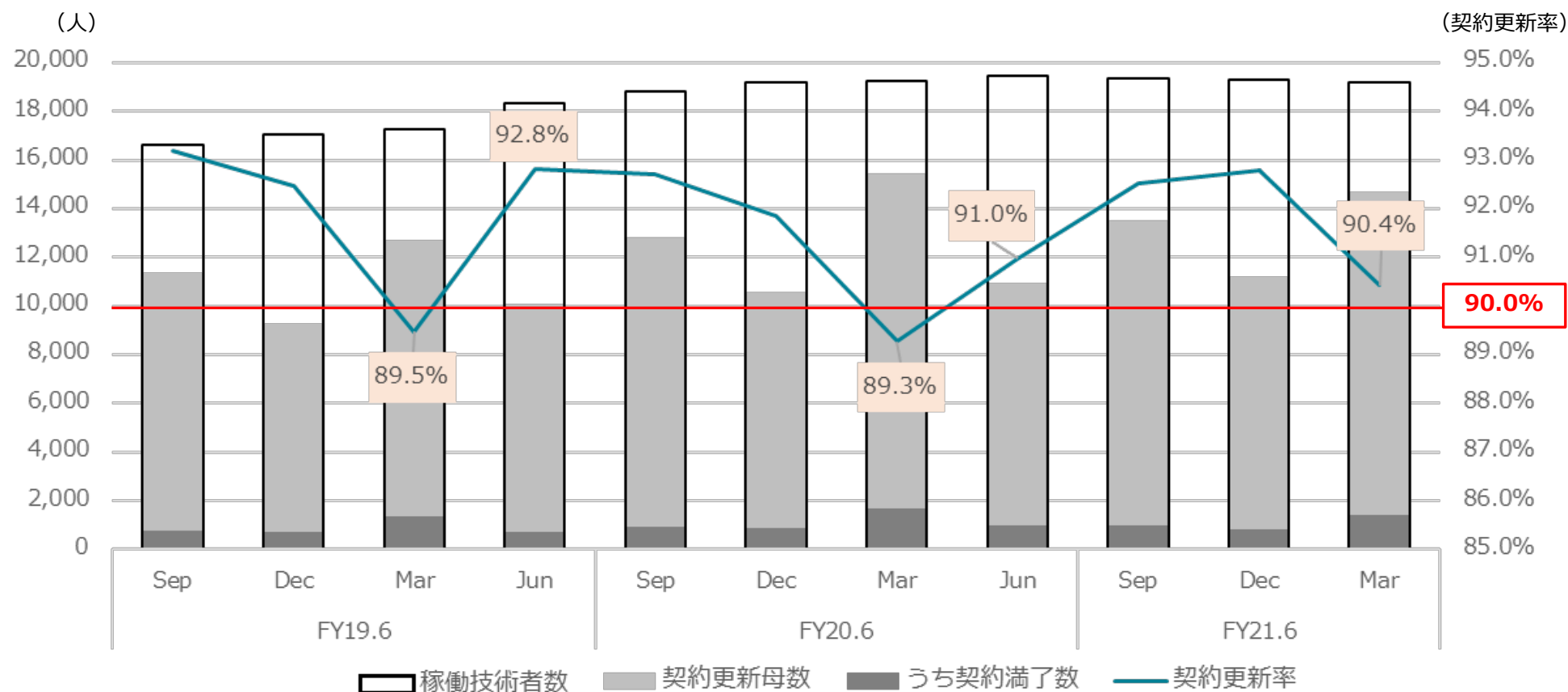
# 技術者数・稼働率の推移（国内）

- FY21.6 3Q末の国内技術者数は19,949人（FY20.6末比  $\Delta 1,315$ 人）、うち日本在住外国籍は944人（FY20.6末比  $\Delta 234$ 人）
- FY21.6 3Q累計の平均稼働率は94.5%（前年同期比  $\Delta 1.1$ pt）、通期の平均稼働率は94.5%を見込む（前年比  $+0.5$ pt）



## 参考) 契約更新率の推移 (3月、6月、9月、12月)

- 派遣契約の期間は3ヶ月又は6ヶ月のものが多く、3ヶ月ごとに大きな契約更新サイクルが到来 (特に3月は、**契約更新母数が全体の約80%**に達し、また、顧客の決算年度に合わせて終了するプロジェクトも多く、通常時でも契約更新率は**90%を若干下回る傾向**)
- 2021年3月の契約更新率は、前年同月を上回る**90.4%で着地** (前年同月比 +1.1pt)
- 2021年6月の契約更新率 (契約更新母数は全体の約55%) は、**前年同月比で大幅な悪化はないものと見込む**

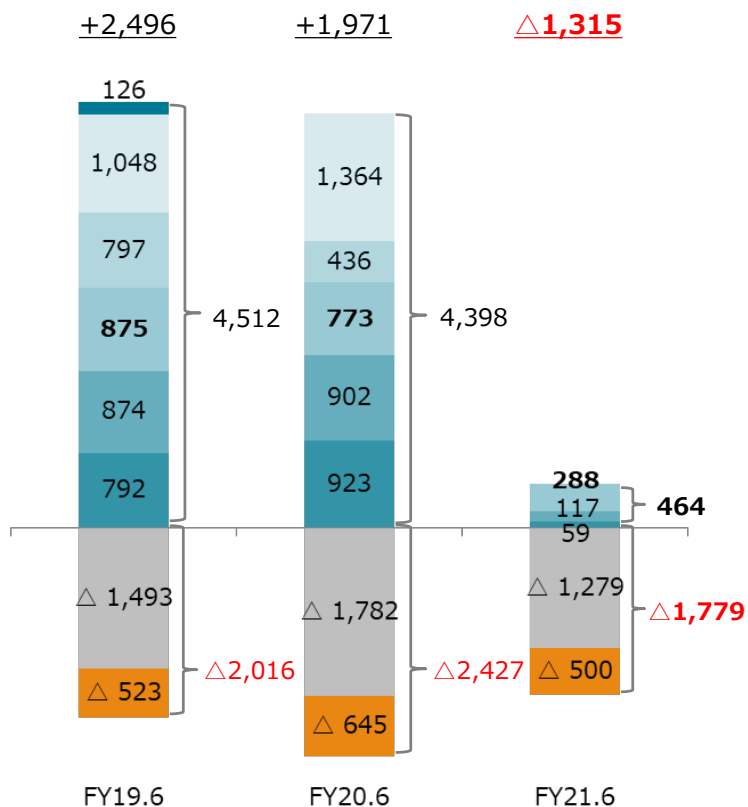




# 採用/退職の推移 (国内)

- FY21.6 3Q累計の中途採用数は、COVID-19に備えた採用抑制により、**464人** (前年同期比  $\Delta 2,134$ 人、 $\Delta 82.1\%$ )
- FY21.6 3Q累計の退職者数は**1,779人**、うち正社員は**1,279人** (前年同期比 +37人)、契約社員は**500人** (前年同期比 +85人)
- FY21.6 3Q累計の正社員退職率\*は**8.4%** (前年同期比 +0.1pt)、LTMベースでは**8.8%** (前年同期比 +0.5pt)
- FY21.6 3Q累計の純増減数は **$\Delta 1,315$ 人**となり、退職抑制と中途採用強化によるリソースの拡充に引き続き注力

純増減数 (人)



採用数/退職者数の推移 (人)

	FY19.6	FY20.6	FY21.6 3Q	前年同期比	
				差	率
<b>全採用数</b>	<b>4,512</b>	<b>4,398</b>	<b>464</b>	—	—
M&Aによる技術者獲得	126	0	—	—	—
新卒採用	1,048	1,364	—	—	—
第4四半期中途採用	797	436	—	—	—
第3四半期中途採用	875	773	288	$\Delta 485$	$\Delta 62.7\%$
第2四半期中途採用	874	902	117	$\Delta 785$	$\Delta 87.0\%$
第1四半期中途採用	792	923	59	$\Delta 864$	$\Delta 93.6\%$
<b>全退職者数</b>	<b>2,016</b>	<b>2,427</b>	<b>1,779</b>	—	—
正社員	1,493	1,782	1,279	—	—
契約期間満了者等	523	645	500	—	—

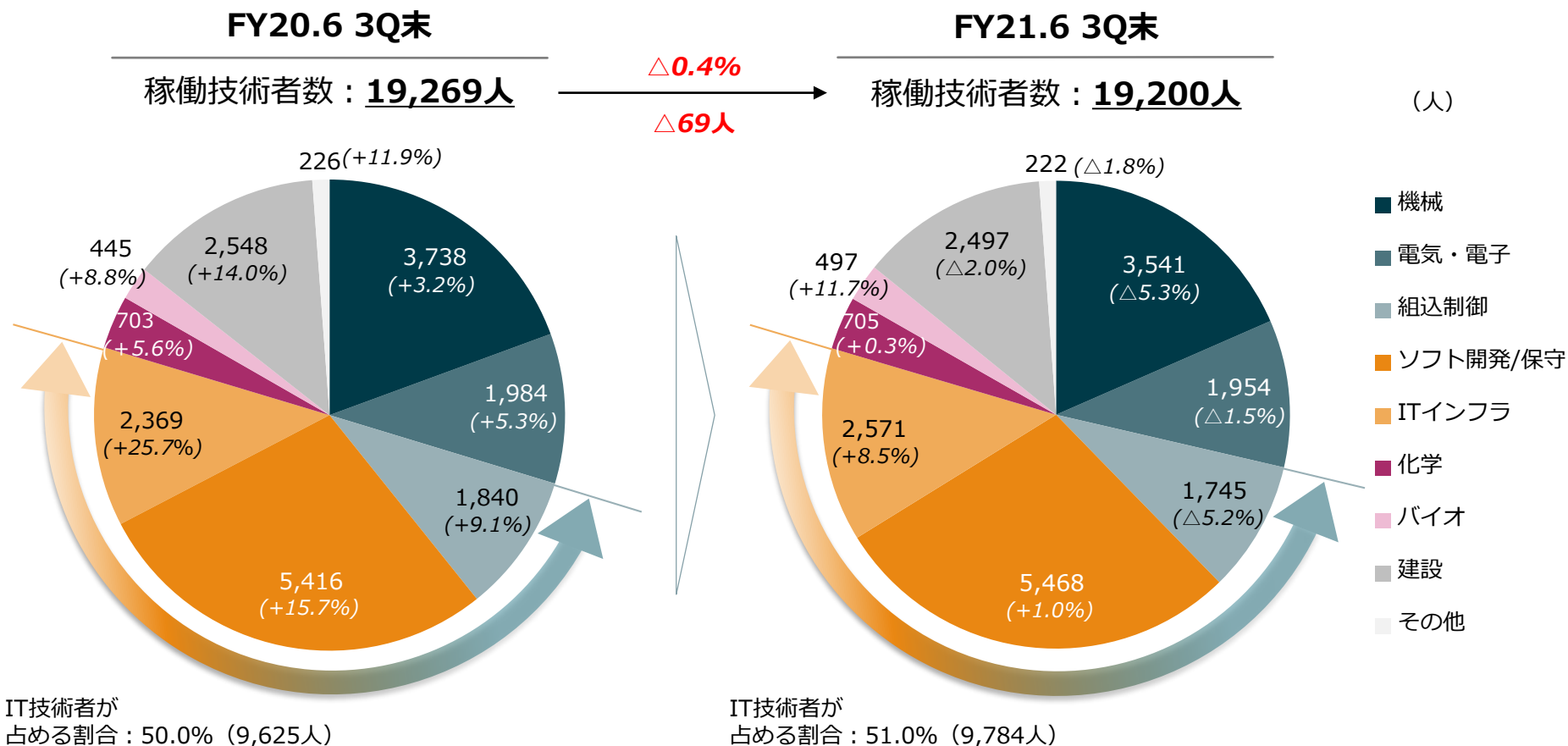
正社員退職率\*の推移

	FY19.6				FY20.6				FY21.6			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
四半期	8.0%	6.7%	10.6%	8.0%	8.6%	7.8%	8.6%	10.1%	8.8%	8.2%	8.1%	—
今期累計 (YTD)	—	7.3%	8.5%	8.3%	—	8.2%	8.3%	8.8%	—	8.5%	8.4%	—
直近12ヶ月累計 (LTM)	8.0%	7.9%	8.2%	8.3%	8.5%	8.7%	8.3%	8.8%	8.9%	8.9%	8.8%	—

\* 正社員退職率には、契約社員の契約期間満了による退職を含みません

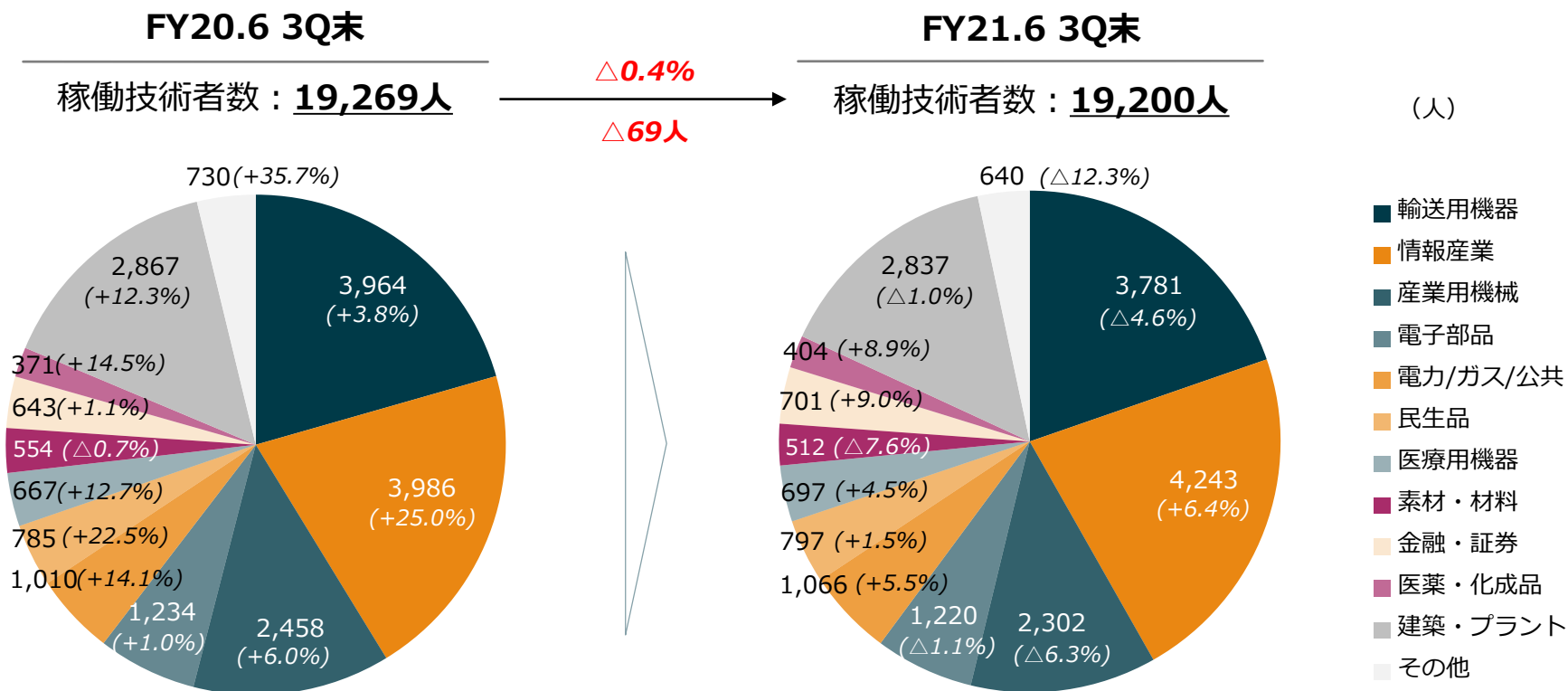
# 『技術領域別』 稼働技術者数（国内）

- 稼働率は既に通常レベルに回復したものの、在籍技術者数の減少傾向が響き、稼働技術者数合計は前年同期比でマイナスに転じる
- FY21.6末の稼働技術者数も前年比でのマイナスが見込まれるが、IT、建設、化学・バイオを中心とした採用強化により、稼働率を維持しながら在籍技術者数を増やし、FY22.6のできるだけ早い時期に前年同月比でのプラス転換を図る



# 『産業分野別』稼働技術者数（国内）

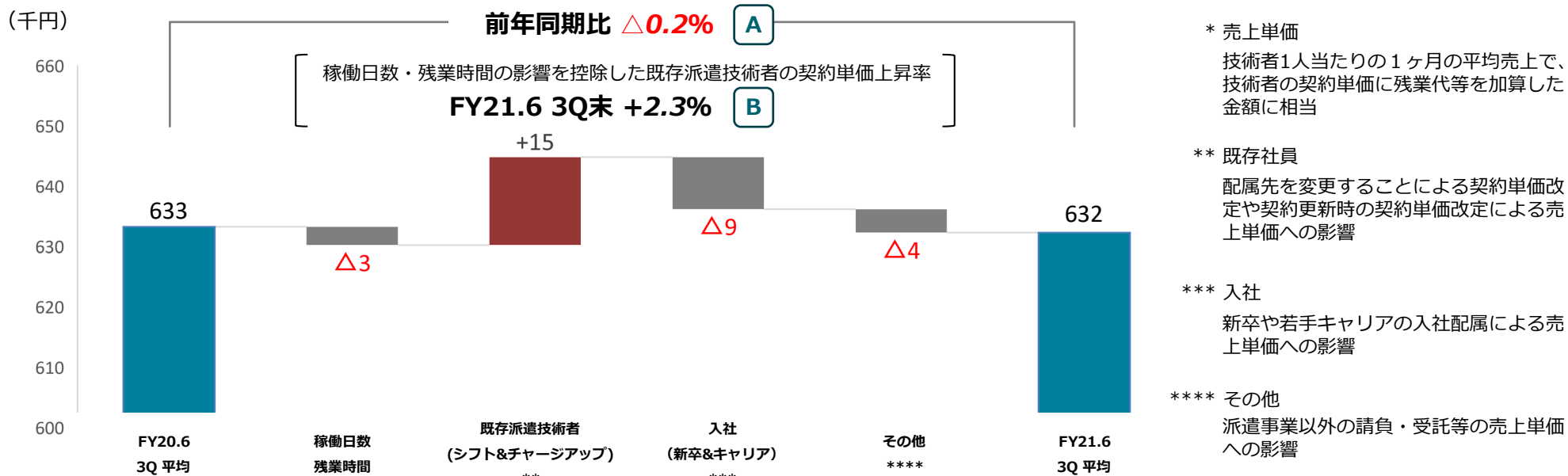
- 輸送用機器の自動車完成車メーカーの需要は復調気味であるものの、部品メーカーの需要は依然厳しい状況が続く
- 半導体に関連した産業用機械や電子部品などは復調傾向
- 情報産業は比較的堅調だが、求められるスキルは上昇しつつあり、在籍技術者への教育投資と経験豊富な人材の中途採用に注力



# 月次平均売上単価の推移

## 主要な国内子会社2社（テクノプロ社、テクノプロ・コンストラクション社）

- FY21.6 3Q累計の月次平均売上単価\*は **632千円**（前年同期比  $\Delta 1$ 千円/月、 $\Delta 0.2\%$ ）
- 稼働日数増（+0.10日/月）・残業時間減（ $\Delta 1.72$ 時間/月）の結果、 $\Delta 3$ 千円/月の売上単価減少
- シフトアップ/チャージアップ戦略による既存派遣技術者の契約単価（ベースチャージ）上昇により、+15千円/月の売上単価増加
- 新卒及び若手キャリアの入社配属により、 $\Delta 9$ 千円/月の売上単価減少



### 過去実績

	FY20.6				FY21.6			
	1Q	2Q (累計)	3Q (累計)	4Q (累計)	1Q	2Q (累計)	3Q (累計)	4Q (累計)
月次平均売上単価 (千円)	626	631	633	630	620	628	632	—
前年同期比	<b>A</b> +0.8%	$\Delta 0.3\%$	+0.3%	$\Delta 0.1\%$	$\Delta 1.0\%$	$\Delta 0.4\%$	$\Delta 0.2\%$	—
スナップショット	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末
既存派遣技術者 契約単価上昇率	+3.6%	+3.4%	+3.0%	+3.7%	+3.4%	+2.6%	+2.3%	—
※ 各四半期末時点の前年同期比	<b>B</b>							

# 2021年6月期 業績修正予想（通期）

- 2021年3月の契約更新を無事に乗り越え、同年4月に入社した新卒の配属も順調に推移していることから、FY21.6 4Q単期の主要KPIを改めて見直し、同四半期の業績予想について**合理的な範囲で修正**
- 上記修正並びにFY21.6 3Q単期の実績を反映した結果、約3ヶ月前に公表した通期業績予想も**上方修正**
- 国内雇用調整助成金は、通期で**17.3億円**を見込む（但し、FY21.6 4Q単期における計上額は軽微）

(百万円)

	第4四半期（単期）						通期					
	FY20.6 （実績）	FY21.6 （前回予想）	FY21.6 （修正予想）	前回予想比	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （前回予想）	FY21.6 （修正予想）	前回予想比	前年比	
売上高	38,916	38,049	38,820	+771	△96	△0.2%	158,407	156,500	159,000	+2,500	+592	+0.4%
営業利益	2,701	2,820	3,120	+300	+418	+15.5%	15,772	17,000	18,000	+1,000	+2,227	+14.1%
営業利益率	6.9%	7.4%	8.0%	+0.6pt	+1.1pt		10.0%	10.9%	11.3%	+0.5pt	+1.4pt	
税引前当期利益	2,754	2,806	3,097	+291	+342	+12.4%	15,843	16,900	18,000	+1,100	+2,156	+13.6%
当期利益	1,845	1,878	2,051	+173	+205	+11.1%	10,825	11,500	12,300	+800	+1,474	+13.6%
当期利益率	4.7%	4.9%	5.3%	+0.3pt	+0.5pt		6.8%	7.3%	7.7%	+0.4pt	+0.9pt	
1株当たり当期利益（円）	51.39	52.29	57.12	+4.83	+5.73	+11.2%	299.97	320.25	342.54	+22.29	+42.57	+14.2%
1株当たり配当金（円）	—	—	—	—	—	—	150.00	161.00	172.00	+11.00	+22.00	+14.7%

主要KPI	第4四半期（単期）						通期					
	FY20.6 （実績）	FY21.6 （前回予想）	FY21.6 （修正予想）	前回予想比	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （前回予想）	FY21.6 （修正予想）	前回予想比	前年比	
国内技術者数（期末時点）	21,264	20,000	20,150	+150	△1,114	△5.2%	21,264	20,000	20,150	+150	△1,114	△5.2%
平均稼働率	89.8%	92.6%	94.5%	+1.9pt	+4.7pt	—	94.0%	93.9%	94.5%	+0.6pt	+0.5pt	—
月次平均売上単価（千円）*	620	620	627	+7	+7	+1.1%	630	626	630	+4	0	0.0%

# 参考) セグメント別業績修正予想 (通期)

- R&Dアウトソーシング：上半期の稼働率悪化により売上総利益は減少するが、雇調金収入もあり、前年を上回る営業利益を想定
- 施工管理アウトソーシング：技術者数の減少によって若干の減収となるが、コスト削減効果が先に効いて、高い営業利益率を維持
- 国内その他：人材紹介事業の苦戦により減収減益を予想するが、引き続きコストコントロールに努めて黒字確保を目指す
- 海外：上半期は、売上・利益ともにガイダンスを上回って着地し、通期でも、中国事業の成長期待により増収増益を見込む

(百万円)

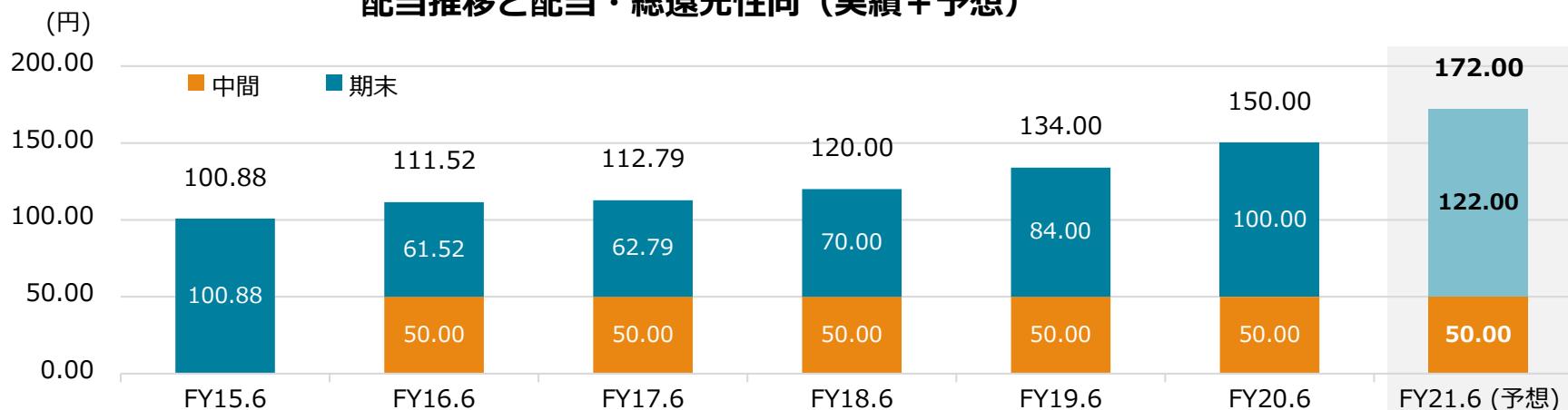
	R&Dアウトソーシング				施工管理アウトソーシング				国内その他				国内小計			
	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比
売上高	114,021	126,179	127,000	+0.7%	17,720	19,787	19,500	△1.5%	3,474	4,103	3,500	△14.7%	135,217	150,071	150,000	△0.0%
連結売上高に占める割合	79.1%	79.7%	79.9%		12.3%	12.5%	12.3%		2.4%	2.6%	2.2%		93.8%	94.7%	94.3%	
営業利益	10,672	12,880	14,300	+11.0%	1,938	2,109	2,800	+32.7%	416	△139	150	—	13,028	14,850	17,250	+16.2%
営業利益率	9.4%	10.2%	11.3%		10.9%	10.7%	14.4%		12.0%	△3.4%	4.3%		9.6%	9.9%	11.5%	
PPA資産償却前営業利益	10,752	12,960	14,380	+11.0%	1,938	2,517	2,800	+11.2%	416	367	150	△59.2%	13,108	15,845	17,330	+9.4%
PPA資産償却前営業利益率	9.4%	10.3%	11.3%		10.9%	12.7%	14.4%		12.0%	9.0%	4.3%		9.7%	10.6%	11.6%	
技術者数 (期末時点、人)	16,748	18,471	17,560	△4.9%	2,545	2,793	2,590	△7.3%	—	—	—	—	19,293	21,264	20,150	△5.2%
うち日本在住外国籍 (人)	922	1,082	—	—	63	96	—	—	—	—	—	—	985	1,178	—	—

	海外				報告セグメント合計				全社/消去				連結合計			
	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比
売上高	10,283	9,941	10,700	+7.6%	145,500	160,012	160,700	+0.4%	△1,324	△1,605	△1,700	—	144,176	158,407	159,000	+0.4%
連結売上高に占める割合	7.1%	6.3%	6.7%		100.9%	101.0%	101.1%		△0.9%	△1.0%	△1.1%		100.0%	100.0%	100.0%	
営業利益	△931	655	750	+14.4%	12,096	15,506	18,000	+16.1%	1,642	266	0	—	13,739	15,772	18,000	+14.1%
営業利益率	△9.1%	6.6%	7.0%		8.3%	9.7%	11.2%		—	—	—		9.5%	10.0%	11.3%	
PPA資産償却前営業利益	993	858	950	+10.6%	14,101	16,704	18,280	+9.4%	172	119	0	—	14,274	16,824	18,280	+8.7%
PPA資産償却前営業利益率	9.7%	8.6%	8.9%		9.7%	10.4%	11.4%		—	—	—		9.9%	10.6%	11.5%	
技術者数 (期末時点、人)	1,608	1,331	—	—	20,901	22,595	—	—	—	—	—	—	20,901	22,595	—	—

# 株主還元

- 配当については、中間配当及び期末配当を年2回安定的に行うことを基本とし、COVID-19の影響を大きく受けるFY21.6においても、これまでと同様に年間配当の配当性向50%を維持する方針（FY21.6の期末配当予想は、通期業績予想の上方修正を反映）
- 50%配当還元後のフリーキャッシュフローは、M&A等の成長投資に充当する予定だが、資本コストを上回るリターン（ROIC）を確保できる投資機会がしばらく見当たらないようであれば、資本効率性の観点から自己株取得による株主還元も柔軟に検討

配当推移と配当・総還元性向（実績+予想）



ROE	37.1%	32.0%	29.9%	24.5%	22.4%	23.3%	23.9%
EPS (円)	201.76	215.80	225.58	244.81	266.86	299.97	342.54
<b>配当性向</b>	<b>50.0%</b>	<b>51.7%</b>	<b>50.0%</b>	<b>50.0%</b>	<b>50.2%</b>	<b>50.0%</b>	<b>50.2%</b>
配当総額 (百万円)	3,437	3,808	3,858	4,250	4,864	5,397	6,176
自己株取得額 (百万円)	—	—	—	—	—	2,063	N/A
<b>総還元性向</b>	<b>50.0%</b>	<b>51.7%</b>	<b>50.0%</b>	<b>50.0%</b>	<b>50.2%</b>	<b>68.9%</b>	<b>N/A</b>

※ 上場初年度のFY15.6は期末配当のみ

FY18.6までは繰越欠損金による法人所得税費用の控除があったため、ROEは実力値より高く推移

# Appendix) 日本のデジタル化の遅れ

- 日本のICT投資額は、1995年対比で米国、英国及び仏国と比較して極めて低い伸び
- 日本のデジタル化の遅れがCOVID-19により再認識され、日本における今後のICT投資の拡大が見込まれる

各国のICT投資額の推移比較（名目、1995年=100）

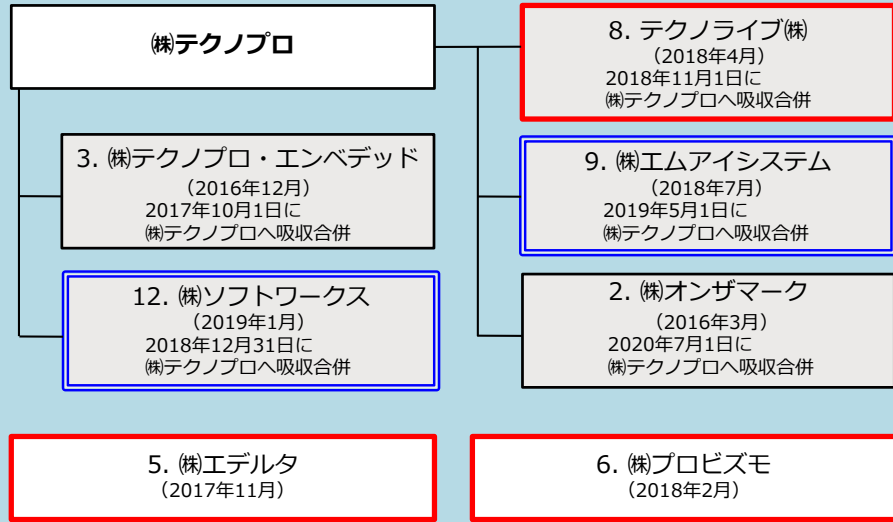




# Appendix) セグメント表 (2021年6月期 第3四半期末現在)

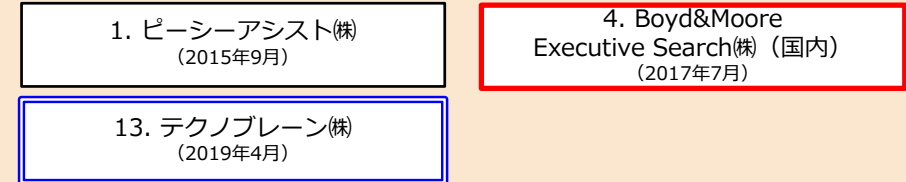
## R&Dアウトソーシング

機械、電気・電子、組込制御、ITネットワーク、ビジネスアプリケーション、システム保守運用、生化学等の技術領域において、技術者派遣及び請負業務を提供



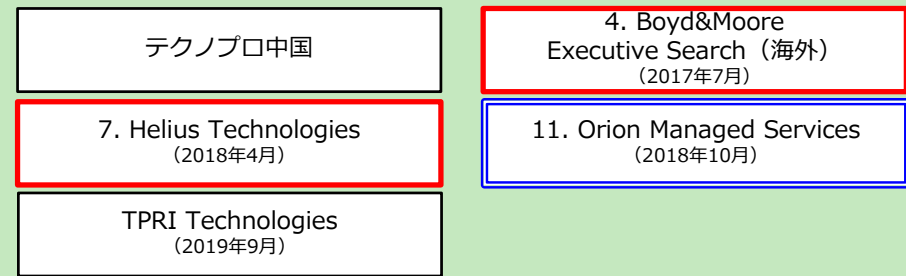
## 国内その他

人材紹介業務、技術系教育研修業務を提供



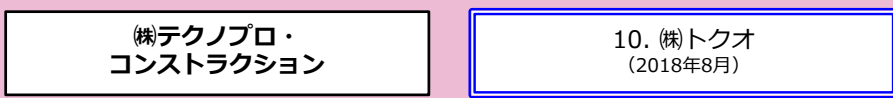
## 海外

中国にて技術アウトソーシング及び人材紹介業務、東南アジア・インドにて技術者派遣及び受託開発業務、英国にて技術者派遣及び人材紹介業務を提供



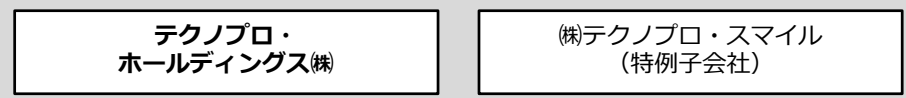
## 施工管理アウトソーシング

建築・土木・設備電気・プラント領域における施工管理（安全管理、品質管理、工程管理、原価管理）の技術者派遣業務、建設図面作成の請負業務を提供



## 本社機能

グループ会社に対して主に管理業務を提供、障がい者雇用事業を展開



# Appendix) リスク資産 (2021年6月期 第3四半期末現在)

- R&D/施工管理アウトソーシングセグメントの主なのれん (**292億円**) は、投資ファンドと経営陣によるMBO時に生じたもので、COVID-19の影響を反映して新たに試算した使用価値はのれんの帳簿価額を大きく上回っており、**減損リスクは極めて低い**
- フロービジネスであるトクオ社とテクノブレーション社は、FY20.6にのれんの減損損失を先んじて計上し、COVID-19の影響がしばらく続いたとしても、**追加の減損リスク額は限定的**
- 人材紹介事業のBoyd&Moore Executive Search社の業績も景気変動に左右されやすいが、COVID-19的环境下でも勢いのあるIT産業の顧客も多く、たとえ減損が生じたとしても、リスク額は**最大で11億円**
- 海外2社の減損リスクは引き続き残るが、業績悪化はPut Option債務の公正価値を低下させ、その変動益によって一部を相殺可能

(百万円)

資金生成単位 (CGU)	株式持分	のれん				PPA資産		Put Option債務	
		MBO	M&A*	合計	割合	M&A*	償却期間	M&A	価値算定期間
<b>R&amp;Dアウトソーシング</b>									
機械、電気・電子領域	100.0%	13,674	977	14,651	40.4%				
組込制御、ITインフラ領域	100.0%	7,969		7,969	22.0%				
ソフト開発・保守領域	100.0%	2,912	2,768	5,681	15.7%	654	~30.3月		
化学、生化学領域	100.0%	1,262		1,262	3.5%				
<b>施工管理アウトソーシング</b>									
施工管理領域	100.0%	3,383		3,383	9.3%				
トクオ	100.0%		190	190	0.5%				
<b>国内その他</b>									
ピーシーアシスト	100.0%		96	96	0.3%				
Boyd&Moore Executive Search	100.0%		1,104	1,104	3.0%				
テクノブレーション	100.0%		151	151	0.4%				
<b>海外</b>									
Helius	51.0%		703	703	1.9%	613	~26.3月	1,790	17.4~22.6月
Orion	63.2%		1,104	1,104	3.0%	462	~26.9月	1,391	18.4~23.6月
合計		<b>29,202</b>	<b>7,098</b>	<b>36,300</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,731</b>		<b>3,182</b>	

# 目次

---

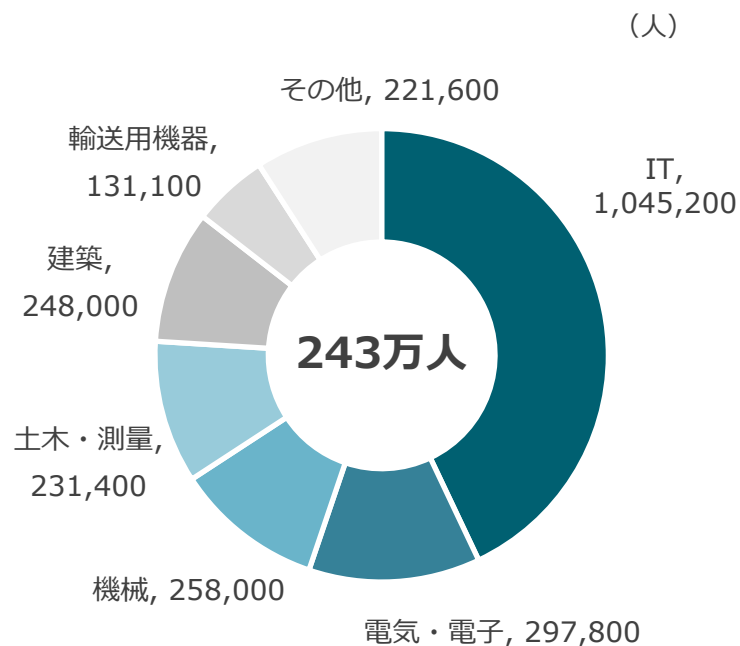
	Page
I : 業績概要	2
II : KPI分析	6
i : 技術者数・稼働率	6
ii : 売上単価	11
III : 業績予想	12
IV : 株主還元	14
V : Appendix	15
VI : データ資料集	19

# 日本の技術者の分布

- 2015年の国勢調査によると、日本の技術者数は243万人（うち約4割をIT技術者が占める）
- 日本は他国と比べ、技術者を自社で抱えず、外部委託（アウトソース）する割合が高い

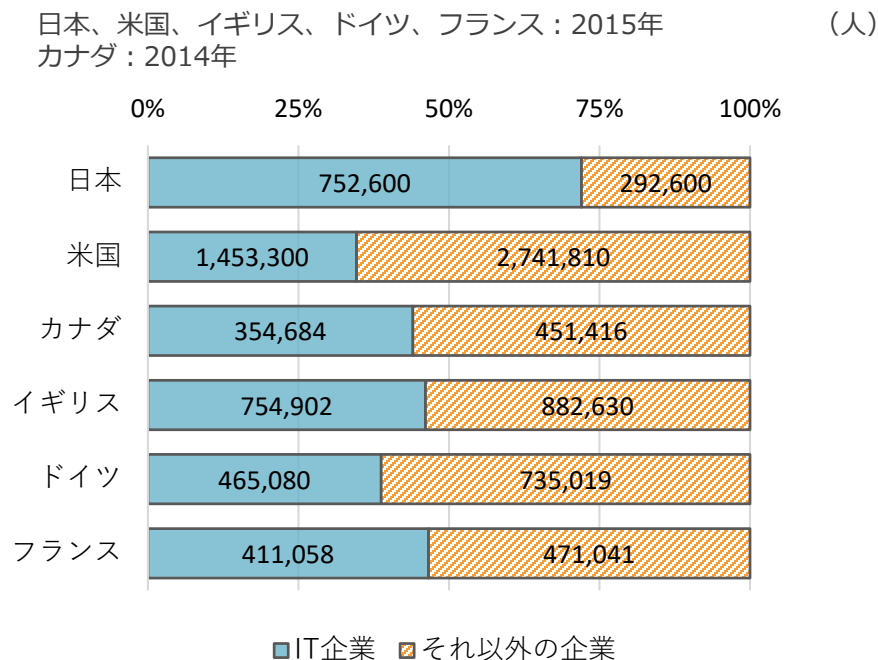
## 1. 日本の技術者数（2015年）

出典：『国勢調査2015年』より当社作成



## 2. IT企業とそれ以外の企業に所属するIT人材の割合

出典：独立行政法人情報処理通信機構『IT人材白書2017』



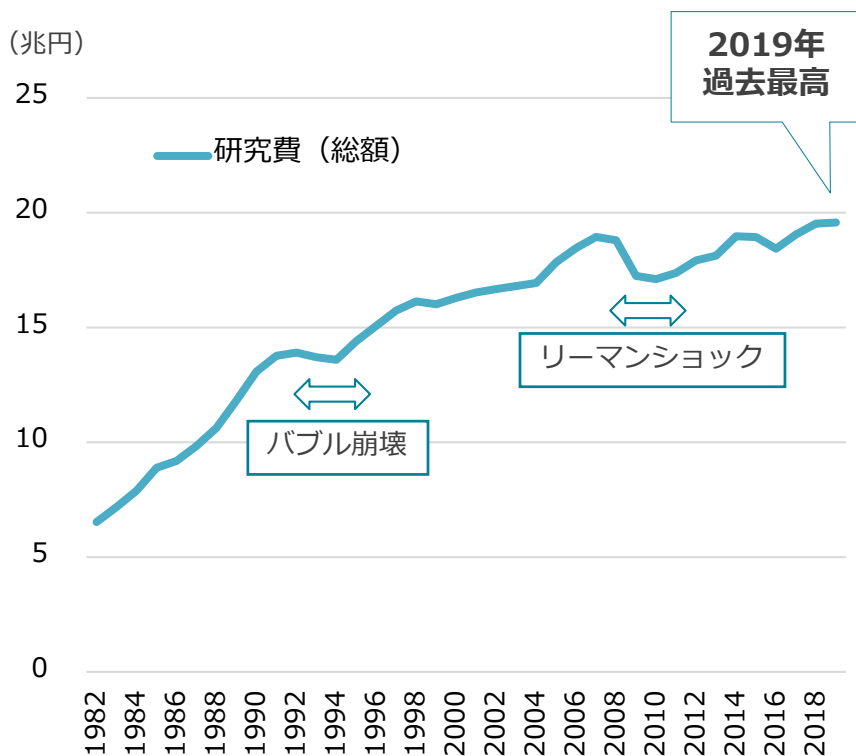
※ 「IT企業」はITベンダー、「それ以外の企業」はITを使用するユーザー企業を指す

# 研究開発費・ICT投資額の推移

- 研究開発は景気の影響を受けにくい分野であり、2019年は過去最高の国内研究開発費を記録し、今後も増加する見込み
- 日本のICT投資は、ハードウェアからソフトウェアに徐々に移行している

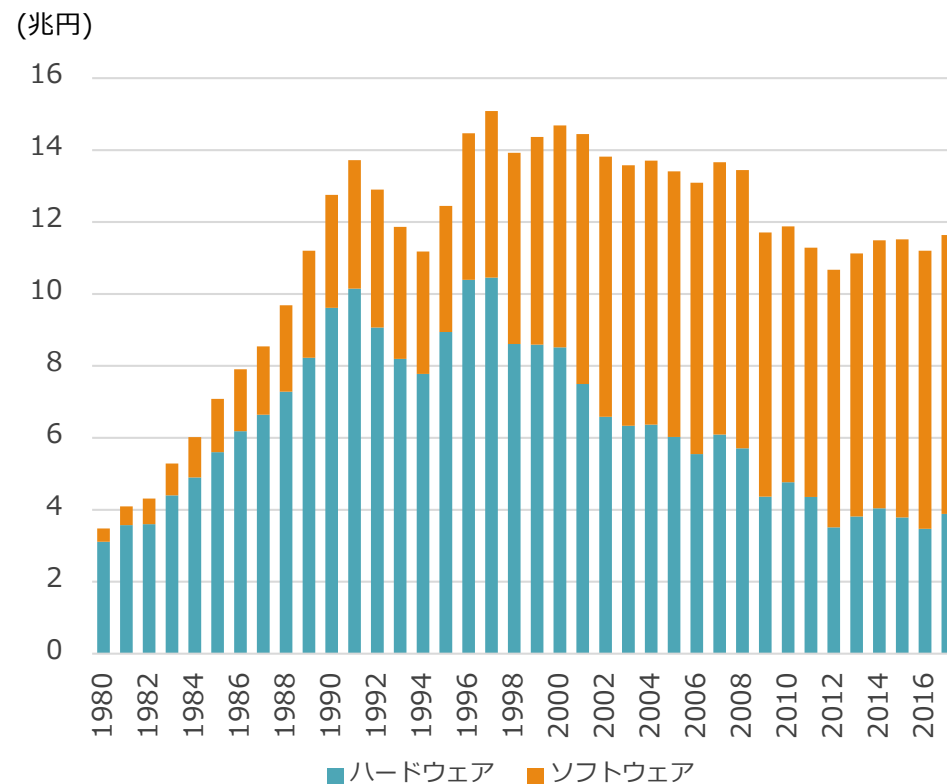
## 3. 国内研究開発費の推移

出典：総務省統計局『科学技術研究調査結果』



## 4. 国内ICT投資額のハード/ソフト内訳

出典：総務省『情報通信白書 令和元年版』



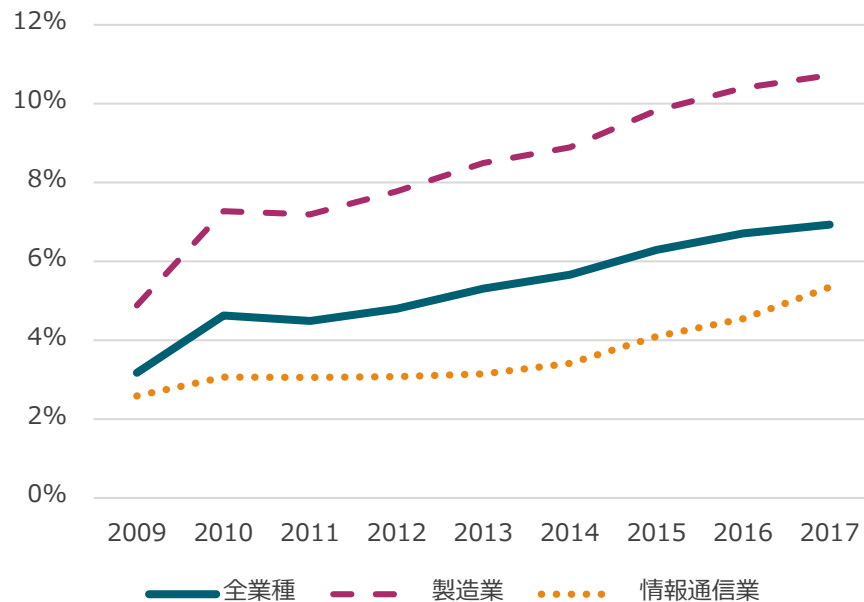
# 研究開発・情報処理関連における外部委託状況

- 全般的に、研究開発・情報処理関連の外部委託率は増加傾向
- 特に、情報通信業でも、情報処理関連業務を外部委託する割合が高い

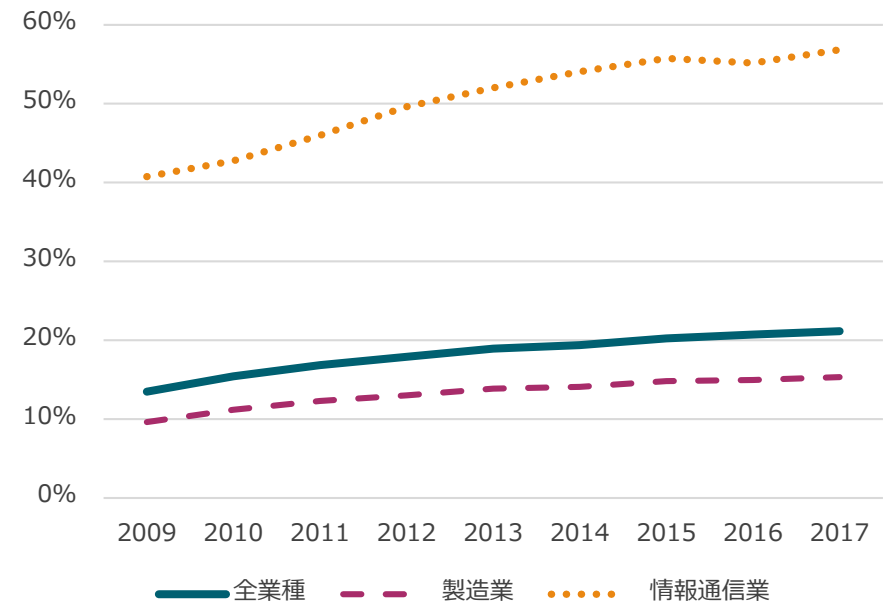
## 5. 業種ごとの外部委託状況

出典：経済産業省 企業活動基本調査、同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2020年

### 研究開発関連



### 情報処理関連

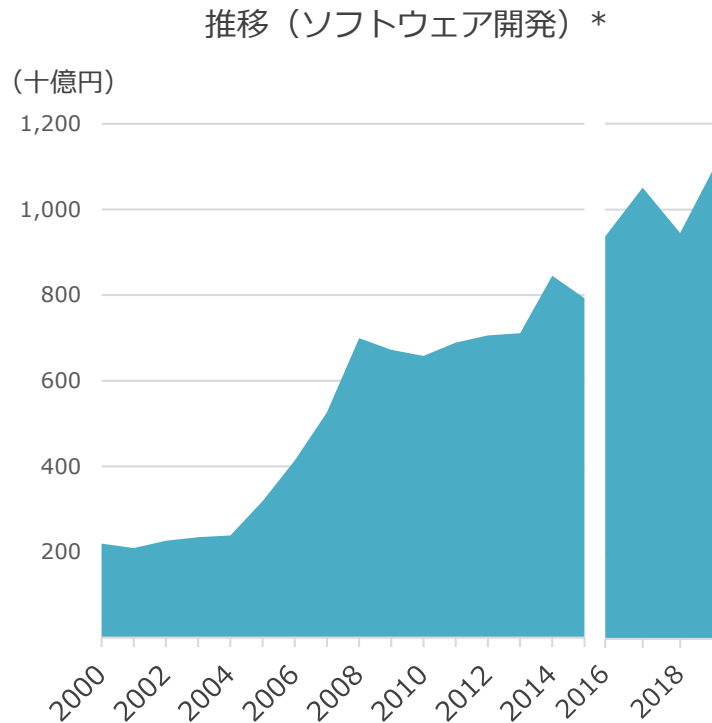


# 技術系人材サービスの市場規模と推移

- 日本の労働者派遣事業全体の推定市場規模は約7.8兆円（2019年）、うち技術者派遣市場は約2.1兆円、技術者数は約28万人
- 矢野経済研究所による将来予測では、技術者派遣市場は年平均成長率（CAGR）6.2%を見込む

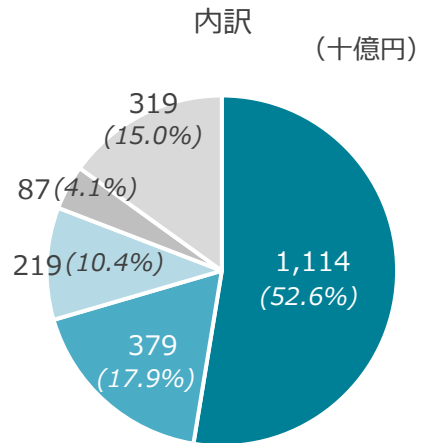
## 6. 技術者派遣市場

出典：厚生労働省発表に基づき当社試算



\* 2015年9月に職種の分類が変更されたため、データが断続

2019年 市場規模  
2兆1,180億円

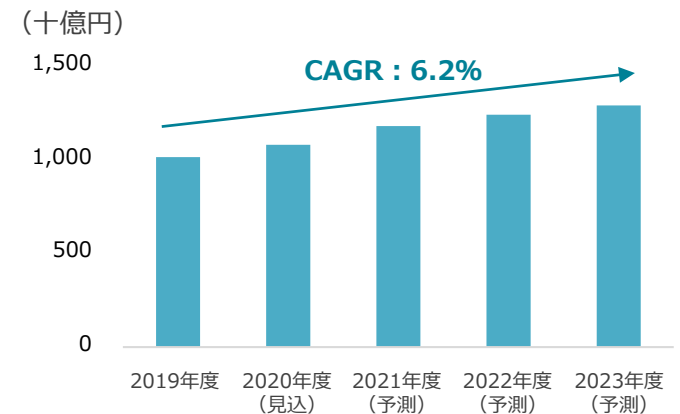


- 10 情報処理・通信技術者
- 0708 製造技術者
- 09 建築・土木・測量技術者
- 05 研究者
- 11 その他の技術者

## 7. 技術者派遣市場の将来予測

出典：株式会社矢野経済研究所

『人材ビジネスの現状と展望2020年版  
PART2 業種・職種別人材サービス編』



※ 事業者売上高ベース、2020年度以降は予測値  
(2020年10月現在)

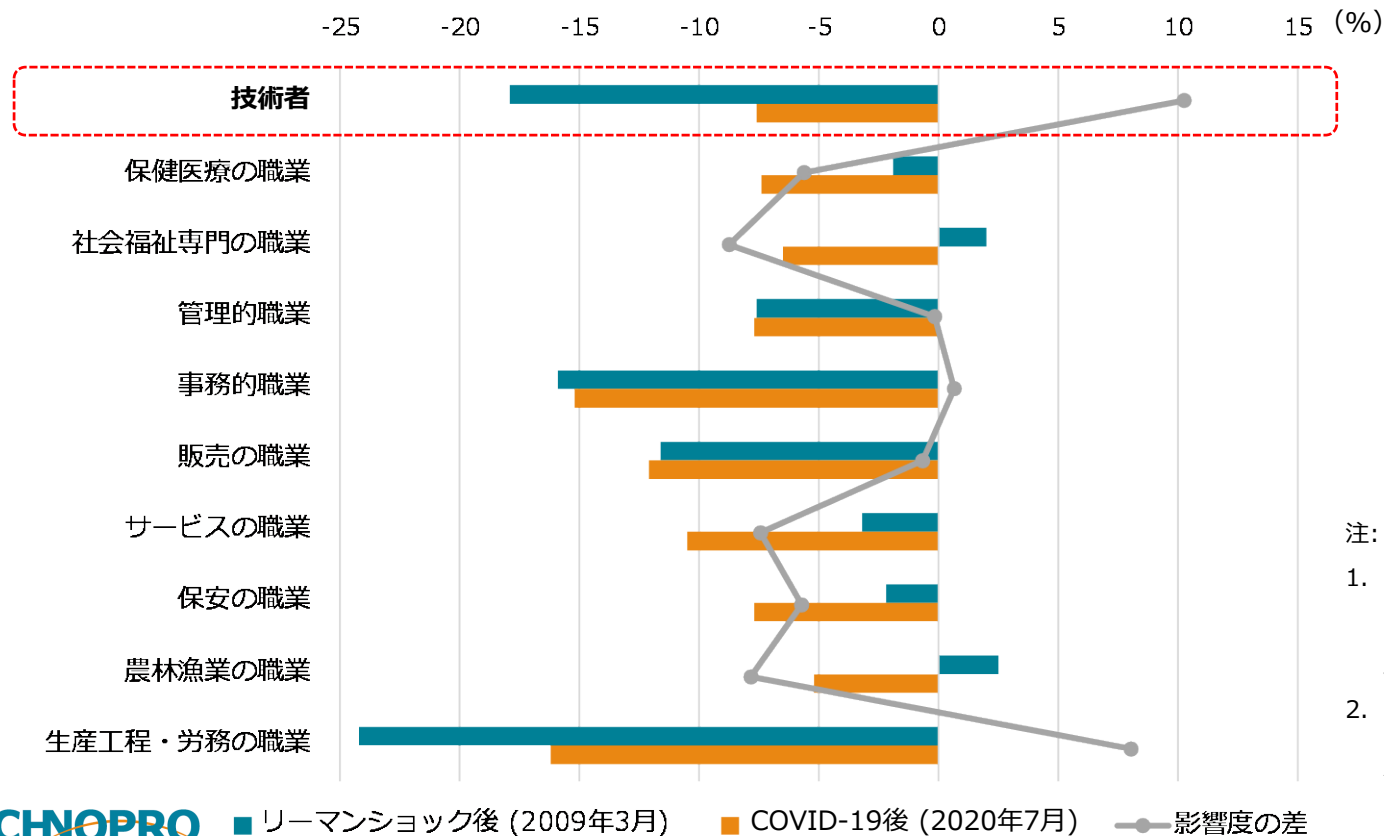
注：矢野経済研究所が独自の調査に基づいて算出した大規模事業者を中心とした市場規模であり、市場全体よりも伸び率が高い可能性あり

# 技術系人材サービスの外的ショックへの耐性

- リーマンショック時と比較すると、今回のCOVID-19第一波における技術者に対する新規求人への影響は大幅に小さかった
- 過去10年間で技術系人材の重要性が高まった、あるいは競争力維持のためのR&DやITシステム開発の優先度合が高まった可能性を示唆しており、当社ビジネスの底堅さを裏付けている

## 8. 外的ショック半年後の新規求人数の増減率とその変化

出典：厚生労働省『一般職業紹介状況（新規求人：パート除く常用）』、同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2020年



注:

- リーマンショック、COVID-19の影響が、それぞれ発生後6ヶ月経った時点で、各職種に対する新規求人数指数にどの程度表れているのかを比較したもの
- リーマンショック半年後の指数値は2008年9月を100、COVID-19半年後の指数値は2020年1月を100とした指数（季節調整済み）

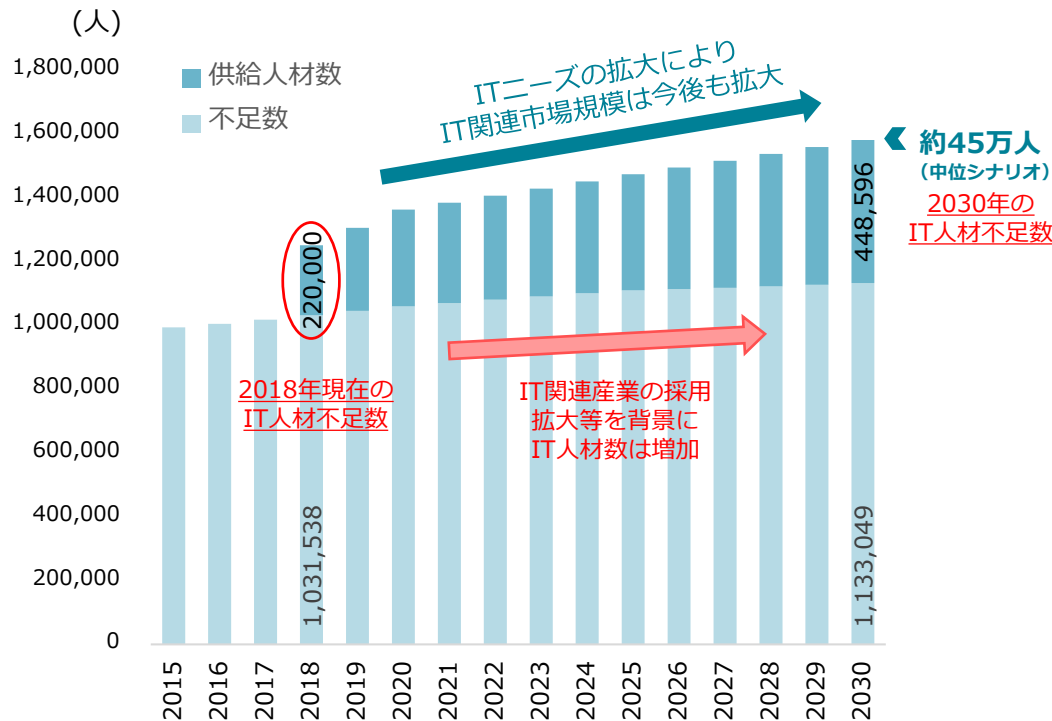


# 技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性① ニーズの増加

- 需給のミスマッチは特にIT人材で大きく、IT分野に強い企業が優位
- AI普及によるエンジニア需要の減退については、新規に創造される需要の方が多い見込み

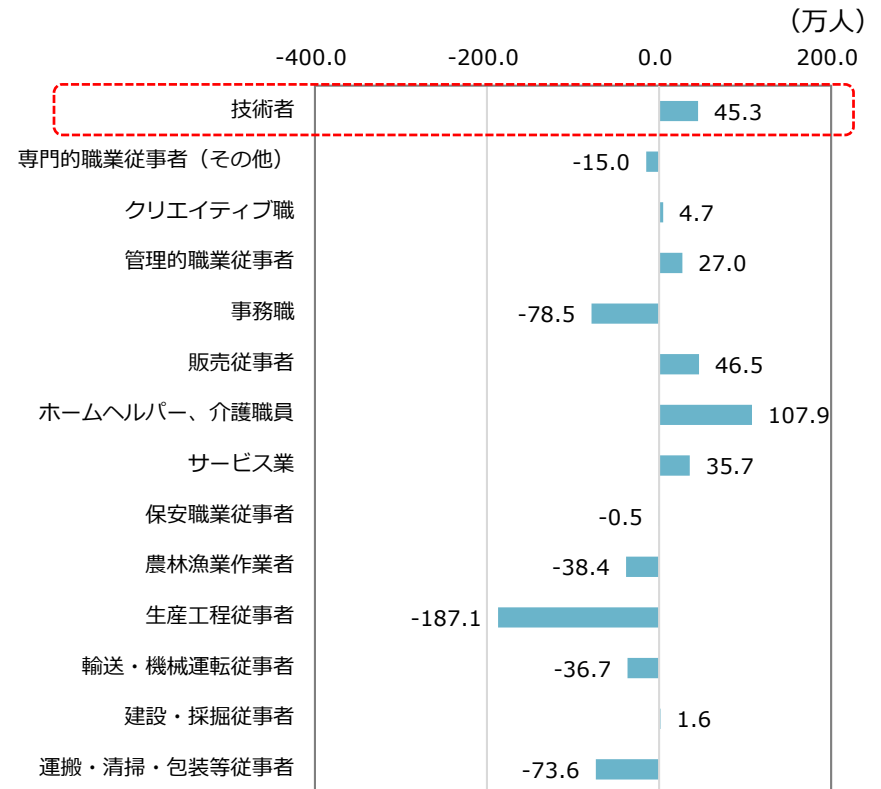
## 9. IT人材の不足規模に関する予測

出典：経済産業省委託事業 みずほ情報総研株式会社  
『IT人材需給に関する調査 調査報告書』より当社作成



## 10. AIの進展等による就業者の増減

出典：厚生労働省 平成29年版労働経済白書『労働経済の分析 -イノベーションの促進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた課題-』



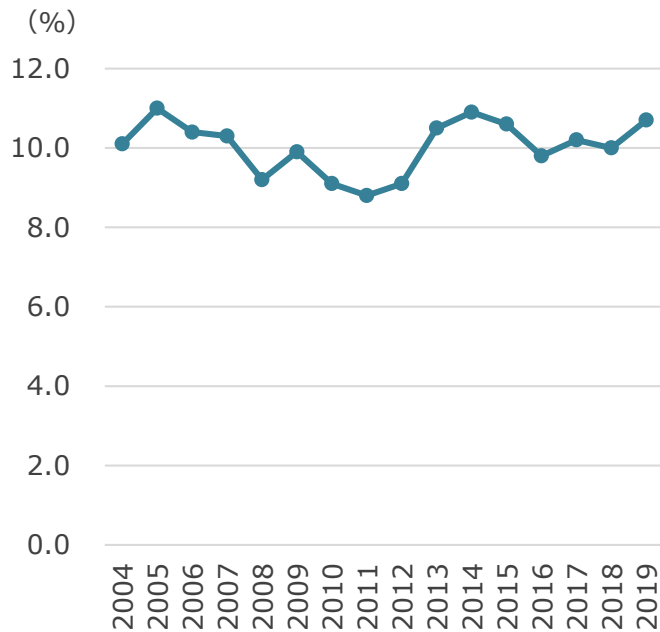
※ 職種別の就業者数は、2015年と2030年を比較した際の推計値

# 技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性② 中途採用市場

- 日本全体の転入职率は10%前後で推移しており、転職市場は一定の規模がある（技術者に限っては、年間20万人以上）
- IT技術者の転入职率は、相対的にその他技術者に比べて高い傾向

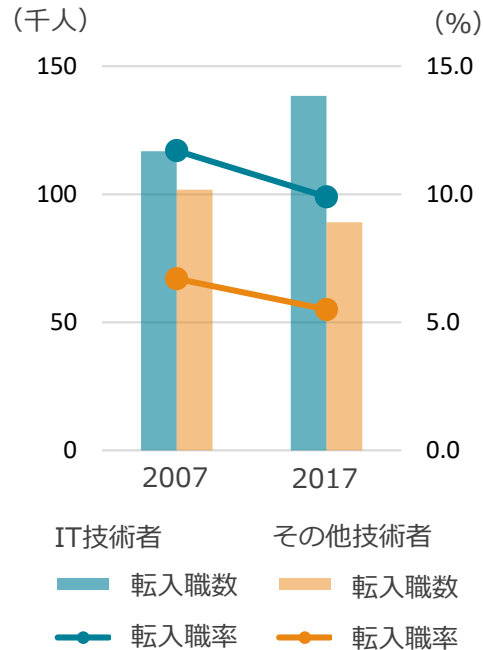
## 11. 転入职率の推移

出典：厚生労働省『雇用動向調査』



## 12. 技術者の転入职率

出典：同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2019年  
『「日本の技術者の転入职者率の近年の特徴」調査報告書』



	1997	2007	2017
全職種	11.0	11.7	10.7
技術者	7.5	8.7	7.5
うちIT技術者		11.7	9.9
うちその他技術者		6.7	5.5

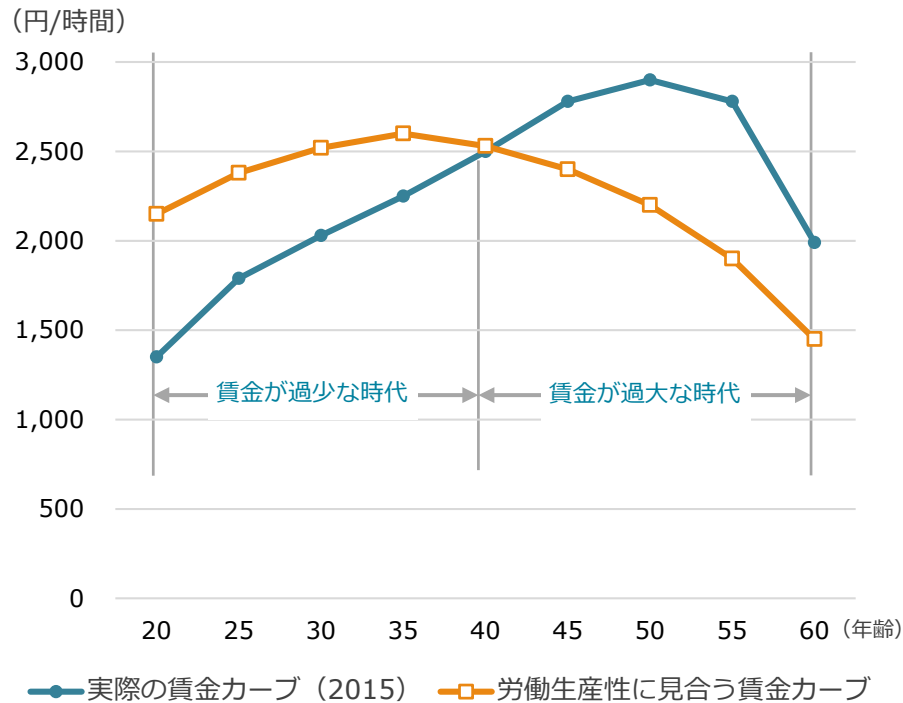
	1997	2007	2017
全職種	7,391	7,717	7,066
技術者	178	219	228
うちIT技術者		117	138
うちその他技術者		102	89

# 技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性② 中途採用市場（続き）

- 年功賃金と終身雇用が根強く残り、若年層の賃金は相対的に低く、中年以降で管理職になることで賃金が上昇
- 生産性と賃金の乖離から、大手企業の中途採用数は限定的

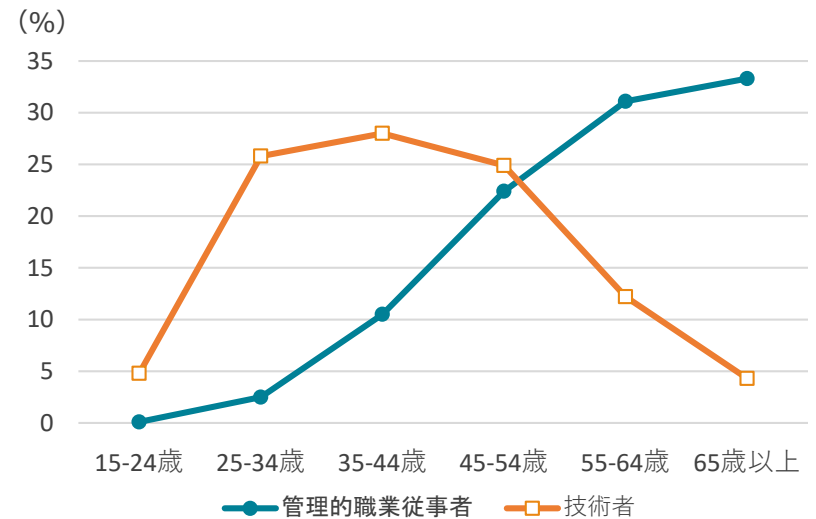
## 13. 年功賃金型賃金カーブと、労働生産性に見合う賃金カーブ（1時間当たり）

出典：三菱UFJモルガン・スタンレー証券投資情報部  
『エクイティリサーチ転載レポート』2017年5月1日



## 14. 職種別年齢構成比較：管理職・技術職（2017年）

出典：同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2019年  
『「日本の技術者の転入职者率の近年の特徴」調査報告書』



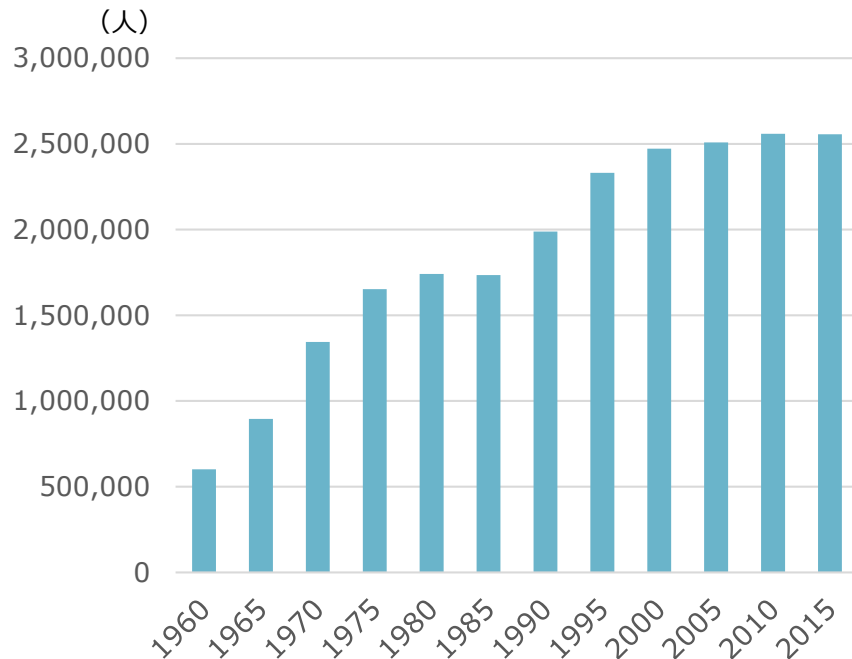
	管理的職業従事者	技術者
15-24歳	0.1	4.8
25-34歳	2.5	25.8
35-44歳	10.5	28
45-54歳	22.4	24.9
55-64歳	31.1	12.2
65歳以上	33.3	4.3

# 技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性③ 新卒採用市場

- 若年人口は減少しているが、進学率の上昇により大卒人数は微増を続けている
- 大手企業の大卒採用数は増えていない一方、求職者側の大手志向は根強い

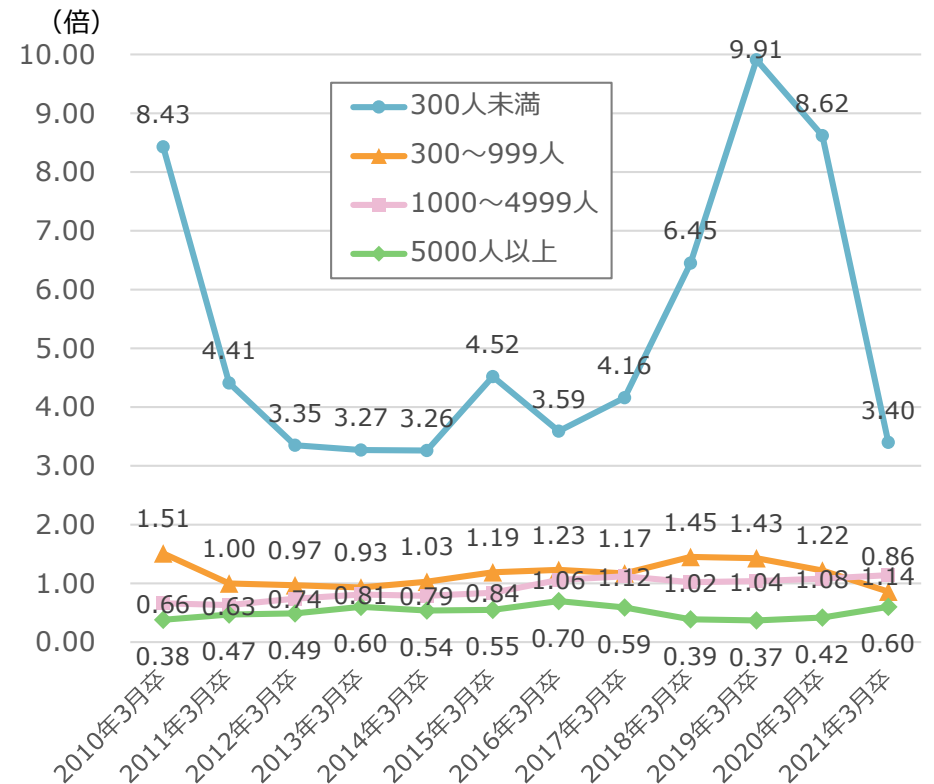
## 15. 大学生数の推移

出典：文部科学省『文部科学統計要覧』



## 16. 従業員規模別 大卒求人倍率

出典：リクルートワークス研究所『第37回ワークス大卒求人倍率調査』



# 免責事項

当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれていますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、複製または転送等を行わないようお願いいたします。

— お知らせ —

当社では、Webサイトにおける新着情報の更新を、メールにてお知らせするサービスを実施しております。ご希望の方は、右記QRコードよりご登録をお願いいたします。



**TECHNOPRO**

**TECHNOPRO**